

「『生きる』教育」3・4年生公開授業研修会

1. 日 時 2025 年 11 月 6 日（木） 13 時 45 分～16 時 45 分
2. 会 場 大阪市立南市岡小学校
3. 公開授業
- 3 年 I 組「子どもの権利条約知ってる？」授業者 仲井間 純
- 4 年 I 組「10 歳のハローワーク」授業者 中林 真理子
4. 意見交流
- 司会者 新田 依里（ニッタ エリ） 6－1 担任（保健主事）
- 授業者 仲井間 純（ナカイマ ジュン） 3－1 担任
- 補助者 村瀬 功樹（ムラセ コウキ） 3－2 担任
- 授業者 中林 真理子（ナカバヤシ マリコ） 4－1 担任（研究部長）
- 補助者 竹田 まどか（タケダ マドカ） 4－2 担任
- 校 長 木村 幹彦（キムラ ミキヒコ）
- その他 本校教員
- Mills College: Catherine C. Lewis 先生（教授）【世界授業研究学会会長】
（ミルズ大学教授キャサリン・C・ルイス先生）
- Bowling Green State University: Joanna C. Weaver 先生（准教授）
（ボウリンググリーン州立大学准教授ジョアンナ・C・ウィーバー先生）
- Bowling Green State University: Holly Plank 先生（准教授）
（ボウリンググリーン州立大学准教授ホリー・プランク先生）
- 京都大学大学院教育学研究科 西岡加名恵 先生（教授）
- 京都大学 ジェームズ・パーカー さん
- 京都大学 飯塚 喜久乃 さん

5. 時 程

13:45	14:30	14:45	15:30	15:45	15:48	16:08	16:28	16:43	16:45
3－1 授業	休 憩	4－1 授業	休 憩	は じ め に	3－1 質疑	4－1 質疑	全体 質疑	おわ りに	



第3学年 「生きる」教育 学習指導案

指導者 仲井間 純

1. 日 時 令和7年11月6日(木) 5時間目 (13:45～14:30)

2. 学年・組 第3学年 1組 男子16名、女子10名 (在籍26名)

3. 題 材 「子どもの権利条約って知ってる？」

4. 題材のねらい

- (1) 「子どもの権利条約」について知り、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの柱への理解を深める。
- (2) 自分にとって大切だと思う権利を選び、友だちと意見交流することで価値観の相違に気づき、さらに自分自身と向き合うことができるようにする。
- (3) 子どもの権利が守られている場合・守られていない場合について、判断できるようにする。

5. 指導計画 (全4時間)

次	時	学習内容と目標
I	2	≪「子どもの権利条約」とは？≫ ○「権利」とは何か？ 世界中の子どもたちが安全に自由に生きていくために守られている権利があることを知る。 ○「子どもの権利条約」が作られた歴史的背景やその意味を知る。 ≪「子どもの権利条約」をもっと知ろう！≫ ○友だちと相談しながら、40条の権利の内、身近に感じられる10個の権利を「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの柱に分類していく。
II	1	≪自分にとって大切な権利とは？≫ ○世界の国々や地域によっては、子どもの権利が守られていない場合があり、そのためにこの権利が必要であることを知る。 ○10個の権利の中から、自分にとって大切だと思う権利をグループで話し合いながらランキング化し、友だちと自分の意見を比べながら、価値観や考え方の違いを確かめ合う。
III	1	≪子どもの権利が守られている場合・守られていない場合≫ ○世界の子どもや自分自身にとって子どもの権利が守られているのか、5つの事例についてグループで話し合いながら確かめる。 ○自分たちが今、生きているということは、どんな権利で守られているのかを考える。
IV	2	≪守られていない権利についてお悩み相談室へ≫ ○自分の生活の中で子どもの権利が守られていない場合について考える。 ○子どもの権利が守られていない事例について、3年生なりに自分たちが今できることを考える。もしも子どもたちで解決できない場合には、どのようにすればよいのか一般的な方法をいくつか提示し、専門諸機関の存在についても学ぶ。(本時)

6. 授業展開

(第IV次) 2時間目

	学習活動	○指導上の留意点 <使用教材>
導入	1. これまでの学習内容を振り返る。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> めあて 「子どもの権利」が守られていない時には、どうすればよいのか考えよう。 </div>	

深める	<p>2. 前時で記入した、自分の生活の中で子どもの権利が守られていない場合について3つの事例（1つの事例につき2班ずつ考える。）を取り上げ、よいアドバイスを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守られていない権利を見つける。 ・なぜ守られていないのか、理由を考える。 ・権利が守られるためには、「誰が」、「誰に」、「どうすればよいのか」考える。 	<p>○班で、守られていないと思う箇所にアンダーラインを引く。</p> <p>○班で、守られていない権利を見つける。</p> <p>○発表する。</p> <p>○よいアドバイスを一人で考え、付箋に書いていく。</p> <p>○班で付箋を持ち寄り、アドバイスを整理していく。</p> <p>○発表する。</p> <p>○相談内容の設定（予定）</p> <p>事例1 いじめについて</p> <p>事例2 一見健康的なネグレクトについて</p> <p>事例3 不登校について</p>
まとめる	<p>3. 自分たちの力では解決できそうにない場合、誰かに助けてもらえることを知る。</p>	<p>○相談者：保護者、先生、友だち、まわりにいる信頼できる大人</p> <p>○公的機関：学校、警察、子ども相談センター、児童虐待ホットライン</p>

（板書計画）

<p>⊗「子どもの権利」が守られていない時には、どうすればよいのか考えよう。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">事例3</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">事例1</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">事例2</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○○○○○○○○○ 	<p>○自分たちの力では解決できそうにない場合 ⇒おうちの人、先生、友だちなどにそうだんする。 学校、警察 ホットライン（電話、LINE）</p>	

第4学年 「生きる」教育 学習指導案

指導者 中林 真理子

1. 日 時 令和7年11月6日(木) 6時間目(14:45～15:25)

2. 学年・組 第4学年 1組 男子8名、女子16名 (在籍24名)

3. 題 材 「10歳のハローワーク」

4. 題材のねらい

- (1) 今の自分を振り返り、ありのままの自分を友だちに話し、また、友だちの思いを聞くことで、自分と相手の相違点を見つけ、互いの違いを認め合うことができる。
- (2) 今の自分を振り返り、言葉で表現・整理することで、安心して自分の将来像を描くことができる。
- (3) 自分が将来就きたい職業について知り、今、自分がやらなければならないことを考え、これからの生活に生かすことができる。

5. 指導計画(全5時間)

次	時	学習内容字にと目標
I	6	<p>《10歳のハローワーク ～今の自分を知ろう～》</p> <p>○世の中には様々な仕事があることを知り、図書やインターネットを活用して知識を広げる。また、気になった職業について詳しく調べ、その職業に就くにはどのような方法があるのかを調べる。</p> <p>○「履歴書作り」を通して、自分とは？というワークをもとに自分自身を言葉で表現・整理し、友だちと交流することで、友だちから見た「自分」も知る。(本時)</p>
II	2	<p>《これから自分に必要な力について考える ～未来を描こう～》</p> <p>○調べたことをもとに「未来年表」を書く。</p> <p>○自分が将来に就きたい職業を想像したり、考えたりしながら、今の自分やこれからの自分の生き方にとって必要な力は何かを考える。(オークション形式)</p>
III	3	<p>《自分の10年の歴史を振り返り、年表を仕上げよう》 ～過去を整理しよう～</p> <p>○自分の生い立ちを振り返り、自分一人ではわからない年代のことを周りの大人に聞いたり、写真を見たりして、自分の歴史10年分を整理し、記録していく。</p> <p>○現在・未来と作ってきた未来予想図と過去をつなげ、自分史年表を仕上げる。</p>

6. 学習の展開 第1次 6時間目

第1次	5・6本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">めあて 友だちと交流して、今の自分を知ろう。</p> </div>	
		<p>1. これまでの学習内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事調べ(自分のなりたい職業) ・オークション(自分に必要な力) <p>2. 「履歴書」の自己紹介カードを書く。</p> <p>これまでに書いた内容に加えて、今の自分のことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介カードの見本を見る。 ・今の自分のことを書く。 <p>【項目5つ】</p> <p>①名前(記入済) ②ふりがな(記入済)</p> <p>③将来の夢(記入済)</p> <p>④アピールポイント(今頑張っていることやできるようになったことなどを2つ書く。)(記入済)</p>	<p>・面接の写真を見て、面接のイメージをもつことができるようにする。</p> <p>・これまでに記入した「将来の夢」や「今、自分が頑張っていること」「できるようになったこと」を確認するように伝える。</p> <p><ワークシート②></p>

	<p>⑤困っていること（みんなに教えても大丈夫な困りごとを1つ以上書く。）</p> <p>3.「面接」の形式で自分のことを伝え合い、客観的に見た自己とも向き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接の仕方を確認する。 ・面接官と相談者に分けてお悩み相談をする。 <p>○あいづちを打つ ○アドバイスをする。 ○自分だったら～</p> <p>などの言葉を使って、相談者の話を聞くようにする。（1人5分程度）</p> <p>4.自分自身を振り返り、話を聞いてもらったり、友だちの思いを聞いたりしたことで、共感したことや気が付いたこと伝えあうなどして、話したことでよかったことなどを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることを書く際には、友だちとの話し合いの中で伝え合う活動がについて伝え、友だちに話してもよい内容にすることや特定の名前を出さないことを伝える。 ・困っていることを複数書きたい児童は、アピールポイントを減らして、困っていることを書いてもよいこととする。 ・書くことが困難な児童な場合は、家、学校、友だちなどのキーワードを出して、今思いつく悩みや困りごとを書くようにする。 <p>・面接の仕方を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>面接官：名前を教えてください。 相談者：〇〇〇〇です。 面接官：困りごとは（悩みごと）は何ですか。 相談者：実は、、、。 面接官：あいづちやアドバイスなど。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1の話し合い形式で、できるだけたくさんの人と面接できるように工夫する。 ・相談するにあたって、子ども同士がやり取りできるように話型や聞く態度、話し方を掲示物などを使って示すようにする。 ・話してよかったと思える話し合いとなるように、話を聞く児童へ相手を思いやった声かけの例を示す。 ・誰かに相談したり、話を聞いてもらったりすることで、改めて気づきがあったり安心したりすることに気づくようにする。
--	--	---

板書計画

め 友だちと交流して今の自分を知ろう。

仕事をするとき必要なこと

- ・りれき書を書く。（自分のことやアピールポイント）
- ・面接を受ける。（相手に自分のことを伝える。）

今日の面接内容

①名前をきく。

②得意なことをきく。

③今の、【困りごと・なやみごと】をきく。

家族 学校 勉強 友だち など

④アドバイスをしたり、あいづちをうったりして、お悩み相談にのる。

10歳のハローワーク2 面接書	
4年()組 名前()	
自己紹介カード	
ふりがな	
名 前	年 月 日生(歳)
わたしの未来…	
将来の夢(つきたい職業)	
わたしのアピールポイント・困っていること	
実は…	
実は…	
実は…	

※自分のことを分かりやすく言い出しながら、**とくい強**と、**がんばっていること**、**4年生になってできるよ**
うになったこと、**うれしかったこと**などの中から2つ選んで書いてみましょう。
※友だちに教えてもいい困っていることを1つ書きましょう。